

とみおかの植生史

✧ 植物から見る富岡町の環境 ✧

会 期

2025
7/26土《**9/15**月祝

開館時間

9:00～17:00 (最終入館16:30)

休館日 7月28日、8月4日、12日、18日、25日、9月1日、8日

入 館 無 料



イワウチワ(乾燥標本)



ハマナデシコ(さく葉標本)

8/2土 10:00～12:00

フィールドワーク

町内植物観察会開催

講師: 山内幹夫氏
(元福島県文化振興財団)

詳細はホームページ・SNS等でお知らせします



1 大地の成り立ち

氷河期に現在の富岡町の谷地形が形成されました。その後、縄文時代に起こった温暖化に伴い暖地系植物が進出しました。その時の名残が、北限の植物として残っています。



土器の底部についた葉脈痕
(弥生土器) ▶

2 富岡町の植物

植物は、地形や土壌の違いによって植生が異なります。それぞれの環境に適応した現在みられる植物、過去にみられた代表的な植物を写真や標本で紹介します。



①ハマナデシコ

②ヤマジノホトギス ▶



4 震災・原発事故で変化した富岡町の植生

震災の津波により影響を受けた海岸線の植生、除染作業や放射性物質の影響を受けた富岡町の植生について考えます。



夜ノ森駅のツツジ
(震災前) ▶



3 富岡町で確認された希少種



植物は、地球温暖化、開発、乱獲などの影響で個体の減少や絶滅の危機に瀕している種が少なくありません。富岡町で確認された絶滅の恐れがある植物を紹介します。



キンラン(環境省・絶滅危惧Ⅱ類) ▶

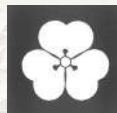
5 人間とのかかわり



身近にある植物は、古くから有用植物として衣・食・住の様々な場面で活用されてきました。また、家紋や古典などの題材としても知られています。



カタバミ④と
家紋⑤ ▶



■東京方面から

- ・東京駅→JR常磐線特急ひたち利用(約3時間).....→富岡駅.....→
- ・東京駅→高速バス利用(約4時間20分).....→富岡営業所.....→
- ・常磐自動車道経由一般道利用(約3時間15分).....→

■仙台方面から

- ・仙台駅→JR常磐線特急ひたち利用(約1時間30分).....→富岡駅.....→
- ・常磐自動車道経由一般道利用(約1時間40分).....→

■いわき方面から

- ・いわき駅→JR常磐線利用(約40分).....→富岡駅.....→
- ・いわき駅前→新常磐交通バス利用(約1時間10分).....→富岡駅前.....→

■富岡駅から当館まで(一般道約2.3km)

- ・タクシーまたは循環バス利用(約5分).....→

とみおかアーカイブ・ミュージアム

とみおかアーカイブ・ミュージアム

〒979-1192 福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚760番地の1
[TEL]0240-25-8644 [休館]月曜(祝日の場合は翌平日)



とみおかアーカイブ・ミュージアム
公式Facebook



とみおかアーカイブ・ミュージアム
公式Instagram

